



長大学生サミット ～2週間の地域留学を終えて～

環境ツーリズム学部1年 岩崎七海

目次

01 自己紹介

02 Rural地域留学について

03 今後の展望

Table of
Contents



自己紹介
～岩崎七海とは何者??～

01

01

自己紹介～岩崎七海とは何者??～

岩崎 七海

Nanami Iwasaki

新潟県佐渡市出身 環境ツーリズム学部1年

所属団体

- ・学生団体～エルの波～・長野大学サークルMIZUMATCH
- ・地域活性化コミュニティRural Labo

将来の夢

佐渡を日本一アットホームな島にすること



01

自己紹介～岩崎七海とは何者??～

一活動を始めたきっかけ

高一時にコロナを経験

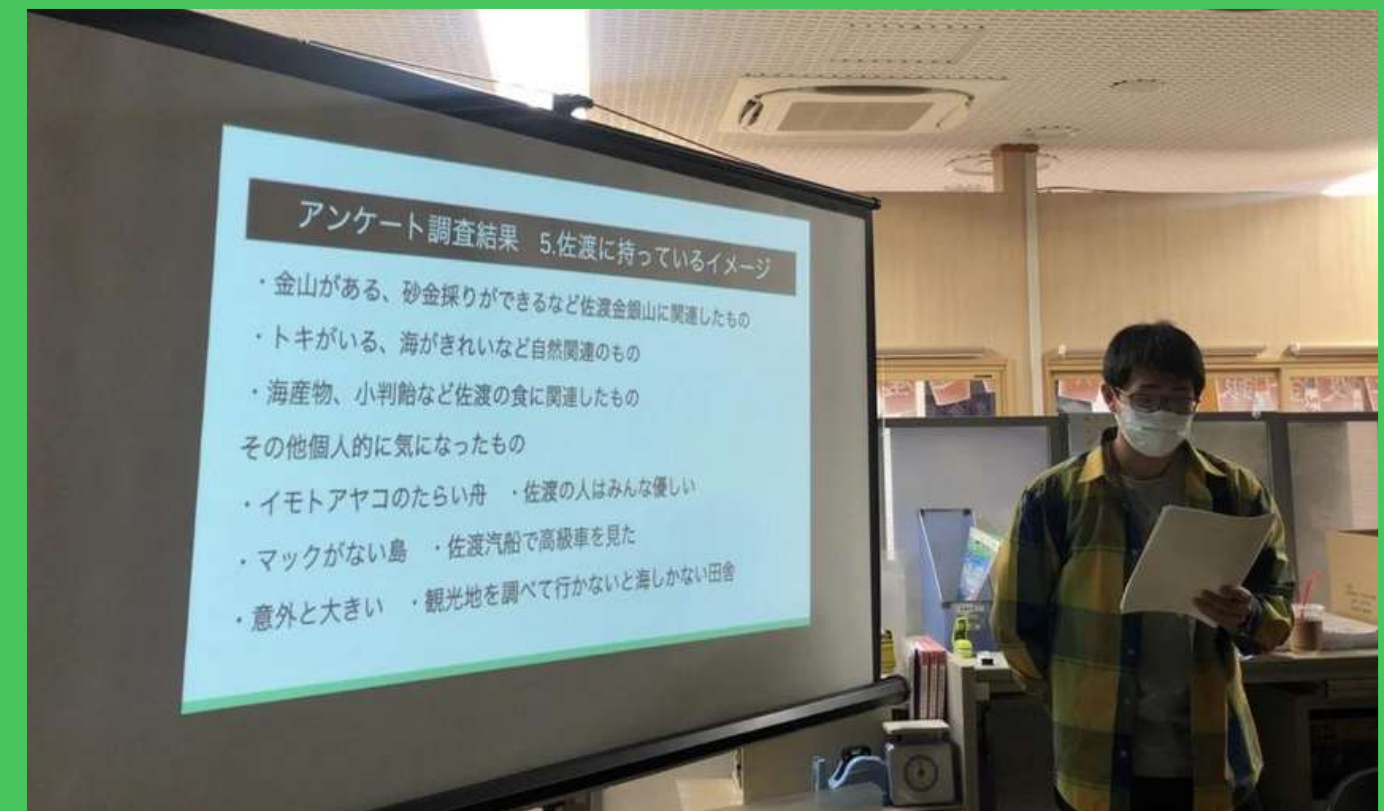
→佐渡がいい島だということに気づき、自分の長所を活かして恩返しをしたいと思い、活動スタート。

一現在の活動の焦点は？

- ・色んな地域に飛び込んで、佐渡の魅力を再発見すること
- ・地域活性化や観光の事例を、現地で確かめること

一活動で大事にしていることは？

- ・迷ったら行動を起こしてみることに
- ・「生の声」を聞くこと



02

Anywhere
Commons
AIZU-BANDAI

Rural地域留学について
～2週間で何を学んだ??～



02

Rural地域留学について～2週間で何を学んだ??～

ーRural地域留学とは？

地域活性化コミュニティRural Laboが提供する「地域における関係人口創出・拡大」とラボメンが「地域に関わるきっかけづくり」を目的とするコンテンツ。
地域おこし協力隊インターン制度を活用して開催。

ーRural Laboとは？



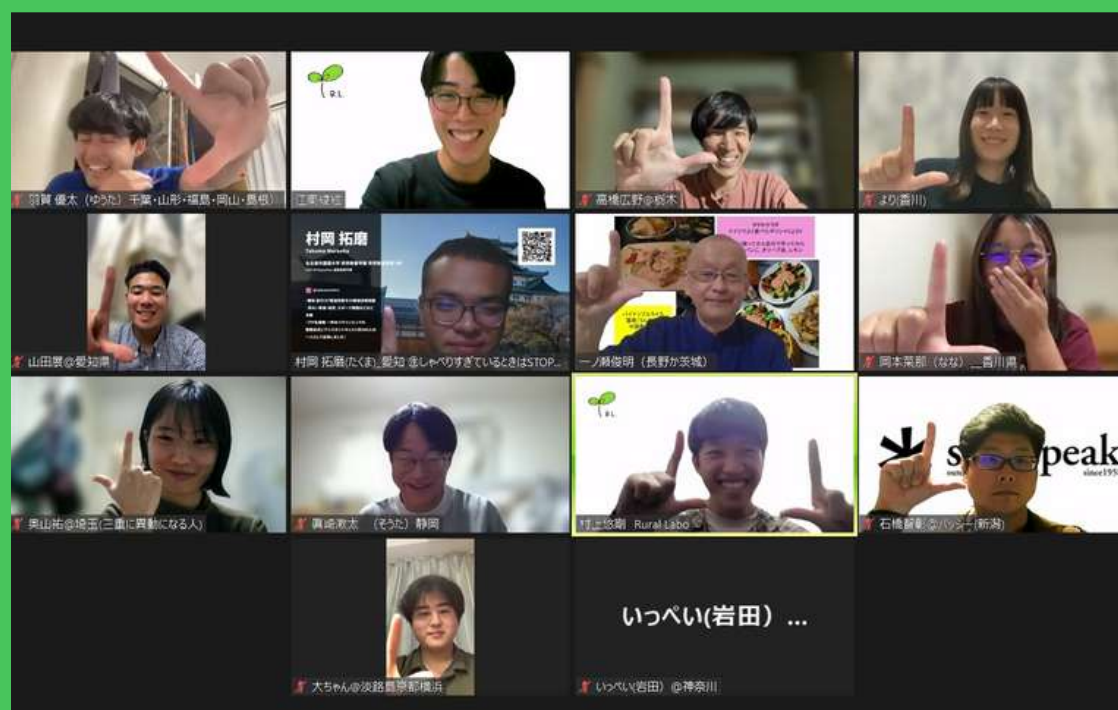
全国の地域活性化に取り組んでいる、または関心のある若者が集う地域活性化コミュニティ。
現在500名以上が参加している。

ーRural Laboが提供しているコンテンツ

地域別交流会

免許留学（地域留学×免許合宿）

Japan Vitalization Summit



02

Rural地域留学について～2週間で何を学んだ??～

地域留学の舞台ー福島県磐梯町ー

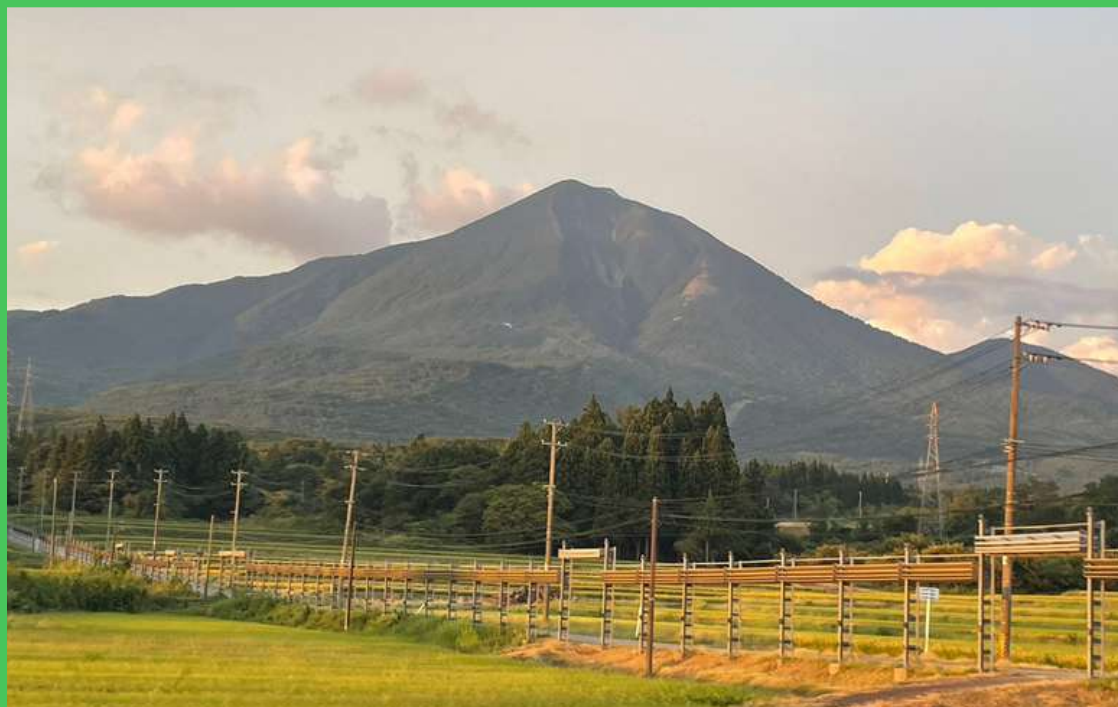
会津磐梯山の麓にある人口約3300人の小さな町。
名水百選にも登録されており、名水の町として有名。
また、星野リゾートやカメラレンズメーカー「SIGMA」
の工場がある町としても有名である。

一町の様子



Map-Itより

https://map-it.azurewebsites.net/Map/%E7%A6%8F%E5%B3%B6%E7%9C%8C_%E8%80%B6%E9%BA%BB%E9%83%A1_%E7%A3%90%E6%A2%AF%E7%94%BA/highlight



ーRural地域留学スケジュールー

9/3

顔合わせ、磐梯町散策、町長による講演

9/4

地域おこし協力隊の方からの話、猛獣罨撤去・設置
福島学院大・磐梯町民との交流会

9/5

磐梯町駅見学、インタビュー事前準備

9/6

町役場の方からの話、インタビュー①

9/7

インタビュー②、猪苗代町散策

9/8

インタビュー③、会津若松散策

9/9

インタビュー記事作成、インタビュー④

9/10

OFF（西会津町散策）

9/11

OFF（浜通り地区散策）

9/12

政策提言プレゼン打ち合わせ

9/13

役場職員からの話、インタビュー⑤、政策提言プレゼン
事前準備

9/14

町役場にて政策提言発表・打ち上げ

9/15

OFF（龍ヶ沢湧水等見学）

9/16

Rural地域留学総振り返り

02

Rural地域留学について～2週間で何を学んだ??～

Day1～Day3振り返り

9/3 顔合わせ、磐梯町散策、町長による講演

9/4 地域おこし協力隊の方からの話、猛獣罨撤去・設置
福島学院大・磐梯町民との交流会

9/5 磐梯町駅見学、インタビュー事前準備

・ 磐梯町がどんな場所なのかを知れた3日間。

その場の縁

緊張の1日目

偶然の出会い

貴重な体験

お味噌汁理論

町あわせ文庫



02

Rural地域留学について～2週間で何を学んだ??～

Day4~Day7振り返り

- 9/6 町役場の方からの話、インタビュー①
- 9/7 インタビュー②、猪苗代町散策
- 9/8 インタビュー③、会津若松散策
- 9/9 インタビュー記事作成、インタビュー④

- ・磐梯町をよりディープに知る4日間
- ①→元役場職員 ②→農家
- ③→珈琲屋 ④→町議会議員

- #愛着人口 #住民同士の繋がり
- #安心・安全で暮らせる町づくり
- #子供たちのアソビバ #初挑戦



02

Rural地域留学について～2週間で何を学んだ??～

Day10～Day12振り返り

9/12

政策提言プレゼン打ち合わせ

9/13

役場職員からの話、インタビュー⑤
政策提言プレゼン事前準備①

9/14

事前準備②、役場にて政策提言発表

・政策提言プレゼンに向けて
留学の日々を振り返り続けた3日間。

⑤→飲食店

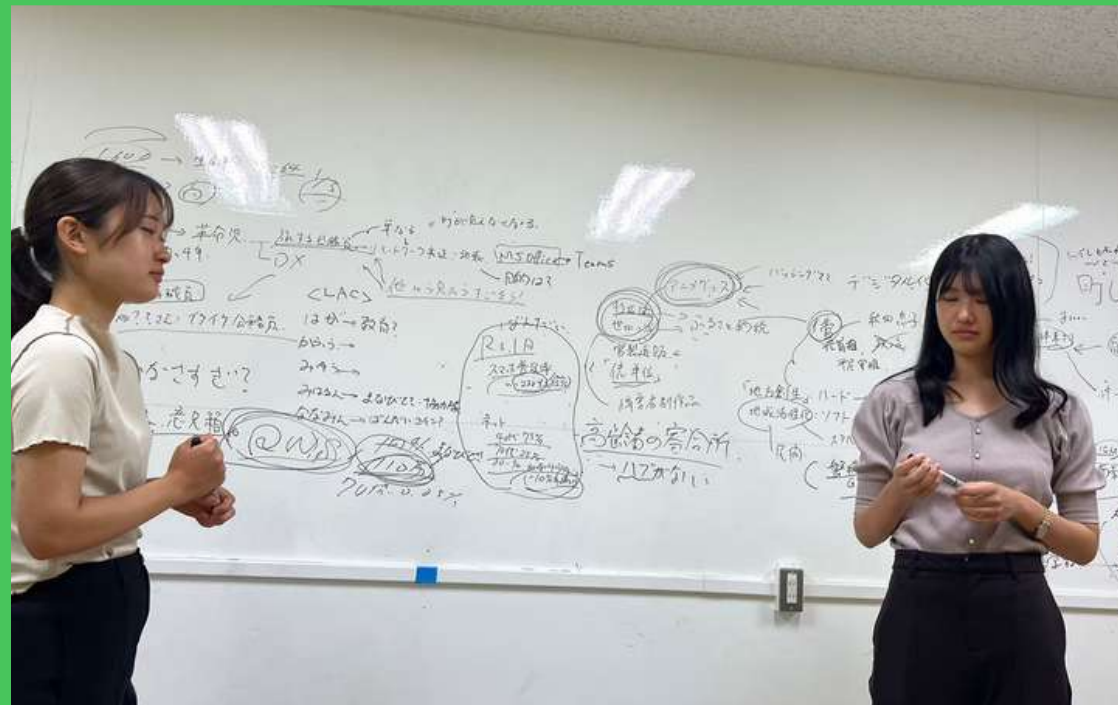
#何にもないところがいいところ

#SWOT分析

#Asis/Tobe

#今と未来

#磐梯町に大きなありがとう



02

Rural地域留学について～2週間を通じて感じたこと～

一人との関わりが生み出す 新たな価値が沢山ある

留学期間を通じて多くの人と出会い、多くの話を聞き、対話をしてきた。話を通じて、プレゼンのヒントやこの先夢に向かって走って行くために重要なことを沢山収穫することができた。

人との関わりが多い人ほど、充実した人生を送れるのではないかと考えた。



02

Rural地域留学について～2週間を通じて感じたこと～

—若者が地域にもっと飛び 込めるキッカケを！！

Rural Laboを通じてチャンスを獲得し、掴むことができた
→長野大学も多くの地域に飛び込めるキッカケを作る必要アリ！！

実践的な学びができるようなプログラムがあると良いかも...
特に1年生により多くのチャンスの提供を！！



今後の展望 ～自分の夢に向けて～

03

今後の展望～自分の夢に向けて～

ー上田地域周辺にて地域で活動している人との人脈を紡ぐ

自分の課題→上田地域周辺の大人との人脈を持っていない
上田地域周辺でRural地域留学のような地域おこし協力隊インターン制度を活用した何かをしたい！！
→大学のゼミやMIZUMATCH、大学内外のイベントを通じて積極的に話しかける！！！！



03

今後の展望～自分の夢に向けて～

ーイベント運営のノウハウを 学び、実践へ

自分の課題→イベント参加の回数は多いけど、運営側に回る回数が少ない

→MIZUMATCHやJVS2023のスタッフを通じて学んできた

but→実践の回数は少ない...

→MIZUMATCHや大学内外でイベント運営のノウハウを学び、実践する回数を増やしていく



ー佐渡に長大学生が来れるようなイベントを企画

佐渡の課題→島外の若者の声を届けるイベントが少ない...。
長大学生を佐渡に招いて観光に対する意見を出して貰いたい！
観ツアー以外の人にも来れるようにする
→佐渡に帰省した際に佐渡市の地域おこし協力隊の方や佐渡
観光交流機構、市役所に話を聞く



THANK YOU!

ありがとうございました

X
(旧Twitter)



Instagram

Facebook



note